

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(3/10)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
先導的な地域医療の活性化(ライフ・イノベーション)総合特区(徳島県)	4.2	4.9 進捗度 ・医師不足対策の推進 122% ・糖尿病対策の推進 124% 外国人宿泊者数 140%	3.8 規制の特例等 ・「総合メディカルゾーン本部」内を単一の病院とみなした制度・法令上の取扱い等 財政支援等 ・寄附講座設置事業 ・医師修学資金貸与事業等 地域独自の取組 ・とくしま経済飛躍ファンドによる研究開発支援等	4.0	<p>・全体の事業進捗状況は良好であり、一定の成果も得られていると評価できる。地域拠点の整備や医療従事者養成により、医療の地域偏在の解消に向けて順調に進んでいる。</p> <p>・多彩な寄附講座の運営を行い医師の育成や派遣を着実にしている。ただし、寄附講座や修学資金の貸与の効果と評価には長期間を要すると思われる。</p> <p>・糖尿病克服の徳島モデルについては、「糖尿病連携手帳の活用」、「栄養指導導入」など実践的な取組で効果が期待できるが、何が「徳島ならではの」の方策であり、それが糖尿病患者数の減少に寄与していることを検証する必要がある。</p> <p>・糖尿病対策については、重症化予防に対する効果の調査としてNDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)等のデータを用いた分析を行うことができないだろうか。</p> <p>・特区としての先行プログラムが、代替システムや制度化等で役割を達成するなかで、事業全体の重点化や新たな展開を見出すための企画力が求められている。</p>